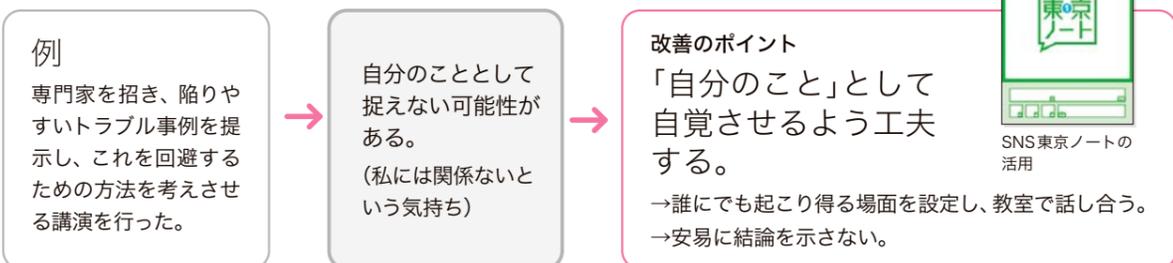


3 「ルール作り・ルール見直し」における留意点

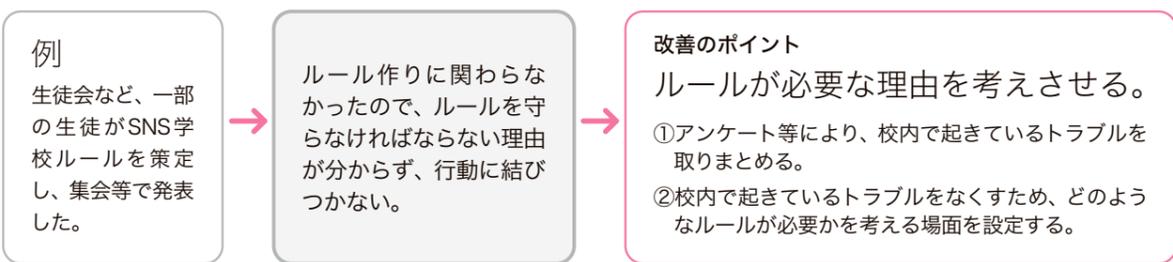
SNSを利用する場面は、学校外です。学校で「ルール作り・ルール見直し」について話し合ったことを、家庭等、学校外での実践につなげることが大切です。

どのようなことに留意すればよいのでしょうか。

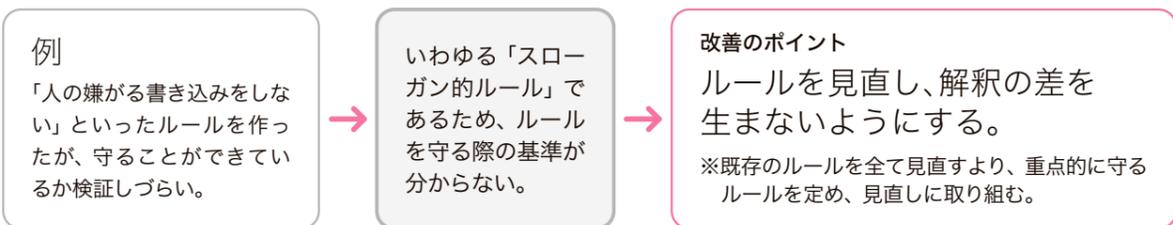
(1) 自分のこととして認識させる。



(2) ルールの必要性を認識させる。



(3) ルールのあいまいさをなくす。



静岡大学 塩田真吾准教授の資料を基に作成

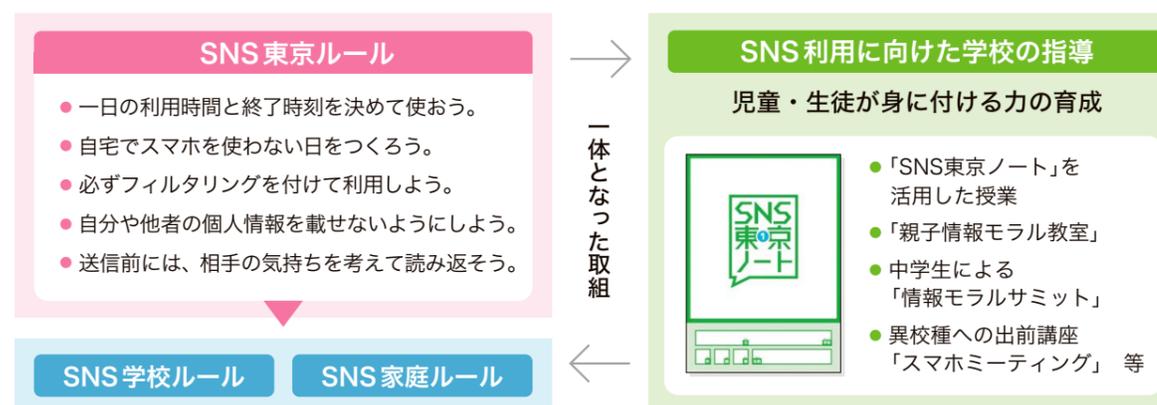
SNSのルール作り・見直しを通じた主体的な情報モラル教育について



平成29年3月

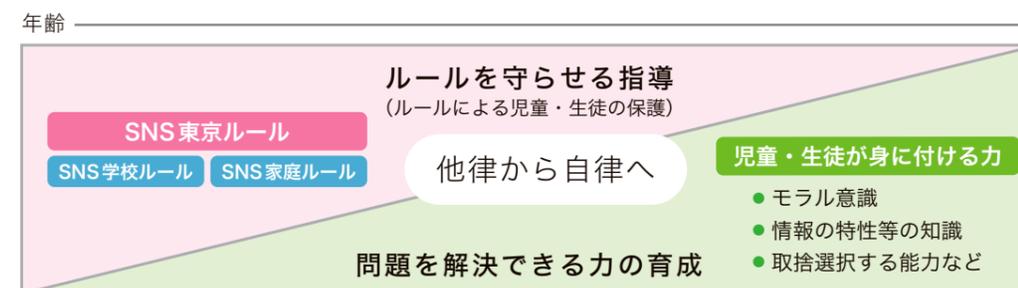
東京都教育委員会は、平成27年11月から、「SNS東京ルール」の取組を始めています。学校では、話し合い等により定めた「SNS学校ルール」や、各区市町村が定めたルール等について、日頃から児童・生徒に意識させることが大切です。SNSのルールを作ることで終わらず、継続して取り組むためのポイントを紹介します。

1 SNS東京ルールの作成の趣旨について



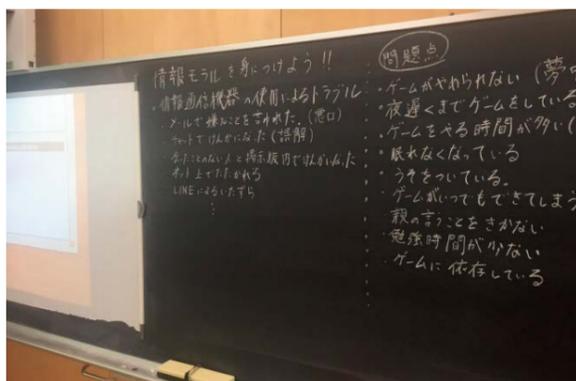
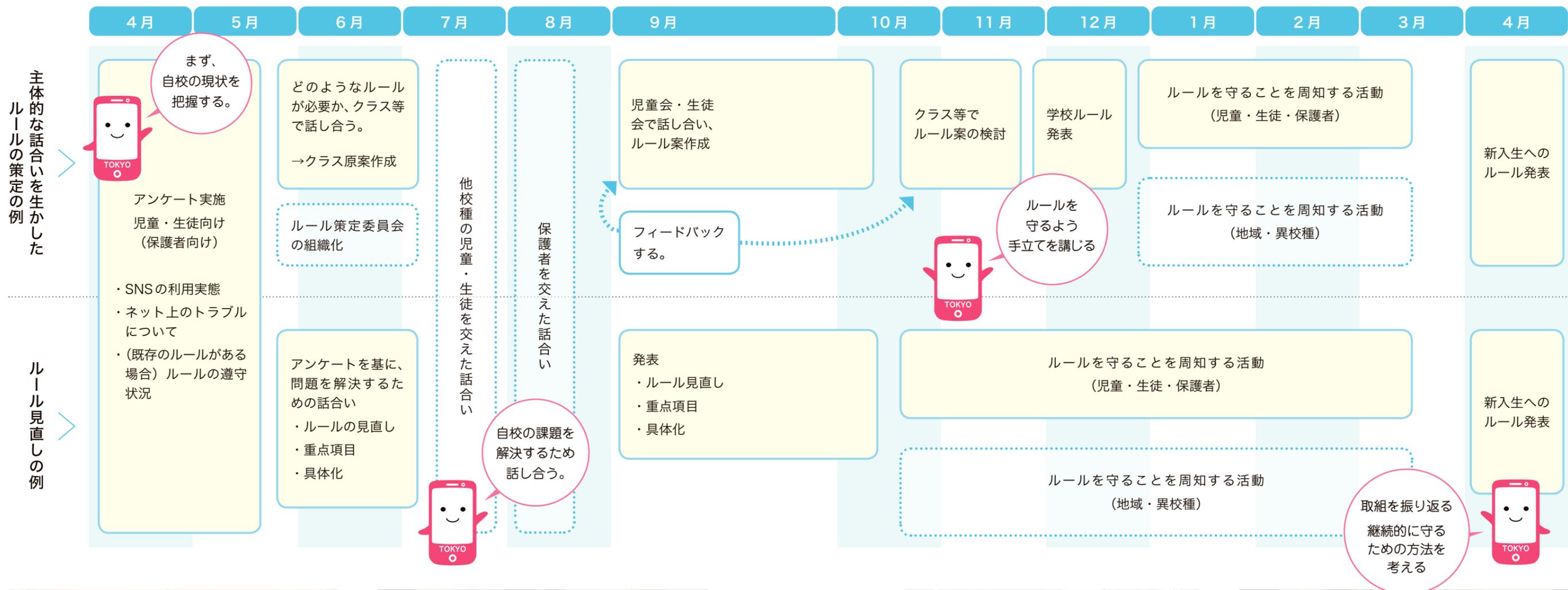
「SNS東京ルール」の五つのルールは、東京都が、子供たちに守ってほしい項目を定めたものですが、「一日の終了時刻とは何時なのか」「他者の個人情報とは何を指すのか」といった具体的な内容については、学校や家庭における話し合いを通じて確認し、「SNS学校ルール」「SNS家庭ルール」として定めることをお願いしています。

「SNS東京ノート」を活用した授業など、学校での指導と、ルール作りやルールを守ることとを、一体として取り組むことにより、児童・生徒が身に付けるべき力を育成していくことが大切です。

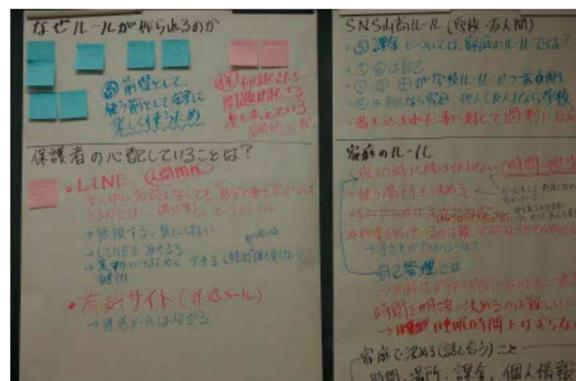


小学校低学年では、ルールを守る指導が中心ですが、発達に応じて、自ら判断し、行動できる力を身に付ける指導を行うようにします。このとき、アンケート等により、スマートフォン等、情報機器の所有の状況や、トラブルにあった状況を把握し、実態を基に指導内容を組み立てることが、より効果的です。

2 SNS 学校ルール の 策定 ・ 見直し の 例



学級ごとに、通信機器を使う際のルールについて話し合い、発表（小学校）



生徒会和保護者が、合同でSNS学校ルールについて、協議（高等学校）



生徒会中央委員会で、SNS学校ルールを検討（中学校）



全校集会で、生徒会がSNS学校ルールを発表（高等学校）